



20年経って、あらためて思う。
本屋は、**異世界への穴で**
できている。

SFの世界にはしばしば異世界への入り口というものが存在する。

『不思議の国のアリス』のウサギ穴のようなものだ。

しかしそれはSFに限らない。

本屋もまた書棚の至るところに異世界への穴が潜んでいる。

偶然にもその穴に落ちてしまった者は幸運だ。

それまで見たこともなかった世界で、魅力的な人たちと出会い、

胸躍る冒険を経験することになるからだ。

そう、本屋は「異世界への穴」が集まった不思議なスポットなのだ。

百田尚樹

2013年大賞「海賊とよばれた男」

全国の書店員が選んだいちばん売りたい本 **本屋大賞 20th 開催中!**



手帳ブランド NOLTY[ノルティ]は本屋大賞を応援しています。

NOLTY
SINCE 1949